

栗原 NN 通信

2020年11月13日発行 第12号

今年春に引き渡した農地において無事に作付け・刈り取りが終わりました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所農業農村整備部では、昨年度より着手した区画整理工事159.3ha、暗渠排水工事89.3haの農地について、今年春に地元農家への引き渡し完了し、整備後の農地で作付けを行う事が出来ました。

今年は幾度か大雨が降った日もありましたが、無事に稲の刈り取りを終える事が出来ました。

なかでも、昨年度から本格的に工事が始まった東田地区、稲屋敷・袋地区、藤田地区及び上沼地区については、整備後初めての作付けとなりましたが、どの地区も生育障害等が発生する事無く、すくすくと作物が育っていました。

当部では引き続き、地元農家や関係機関との調整を綿密に行いながら、農業農村整備事業に取り組んでまいります。

【表】 R2年度春農地引渡し面積(ha)

地区名	引渡し面積(ha)
大目	33.9
東田	22.9
稲屋敷・袋	54.3
上沼	33.1
藤田	15.1
区画整理計	159.3
沼田・八木	57.2
迫第四	32.1
暗渠排水計	89.3



整備前（藤田地区）



整備後（藤田地区）



すくすくと稲が育ちました（稲屋敷・袋地区）



整備後の農地での収穫状況（稲屋敷・袋地区）

「くりはらの花で工事現場のイメージアップ！！」運動を実施しています！

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う外出やイベント等の自粛により、園芸作物では特に、花きの需要低迷が続いています。

北部地方振興事務所栗原地域事務所農業農村整備部では、事務所各部の垣根を越えた若手職員によるワークショップを実施し、「宮城県花いっぱいプロジェクト」を活用した支援を検討した結果、同所農業振興部と連携して、工事現場で「くりはらの花で工事現場のイメージアップ！！」運動を展開し、花き農家を支援する取組みを行うことにしました。そこで、宮城県建設業協会栗原支部に対し、公共工事の監督員を担当する当部職員がプレゼンテーションを行い、協力を依頼しました。

10月末時点で栗原管内の工事現場19か所がこの運動に協力しており、各工事現場ではさまざまな種類の花が見られ、工事現場の雰囲気がいっそう明るくなりました。

今後も「くりはらの花で工事現場のイメージアップ！！」運動を継続し、栗原産の花きの消費拡大につなげていきたいと思えます。



多面的機能支払交付金活動支援研修会が開催されました

多面的機能支払交付金の活動に取り組む組織を対象に、令和2年8月5日（水）、栗原文化会館で「令和2年度多面的機能支払に係る活動支援研修会」が宮城県多面的機能支払推進協議会の主催で開催され、栗原市内の活動組織から98名の方が参加しました。

多面的機能支払交付金は、農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進するためのもので、「農地・水保全管理支払交付金」を前身として平成26年度に創設されたものです。

研修会では、令和2年度の交付金制度改正内容や交付金に係る事務手続きの説明のほか、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の講師から「多面的機能支払交付金活動による地域資源の管理と農村振興」と題した講演があり、多面的機能支払交付金の現状や課題についての説明、全国の事例紹介がありました。

また、会場には事務負担軽減システムを開発する企業3社による実演ブースが設けられ、参加者は事務処理負担の軽減を実感していました。



そらまめほ場見学会を開催しました！

宮城県では現在、農地整備と併せた収益性の高い転作品目（以下、高収益作物）の導入を推進しています。このうち栗原管内の農地整備事業「上沼地区」及び「藤田地区」では、令和3～4年度に高収益作物の導入を予定しており、現在、作付品目を検討しているところです。そこで、令和2年6月8日（月）に栗原市志波姫、同月9日（火）に栗原市瀬峰において、各地区の農業者を対象に「そらまめほ場見学会」を開催しました。

見学会では JA 新みやぎ栗っこ営農センターから講師を招き、栽培管理のポイントについて説明を受けました。参加者からは、排水対策や収穫作業について積極的に質問がなされ、有意義なほ場見学会となりました。

北部地方振興事務所栗原地域事務所農業農村整備部では、引き続き関係機関と連携し、高収益作物の導入・定着を支援してまいります。



収穫したそらまめ



ほ場の様子

栗原市金成『有壁地区』で酒米の田植え作業が行われました！

栗原市金成『有壁地区』では、農地整備推進委員会が萩野酒造株式会社と連携し、地元産の酒米を使った酒造りによる地域活性化に取り組んでいます。昨年度は、この取り組みの一環として、田植え体験や稲刈り体験等のイベントを開催し、地域内外の人々との交流を行いました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため田植え体験や稲刈り体験等のイベントは中止となりましたが、令和2年5月22日（金）に農地整備推進委員会のメンバーにより酒米「美山錦」の田植えが行われました。同年10月の稲刈りも委員会メンバーにより行われるなど、地域活動として継続されています。

なお令和3年3月には、収穫した酒米「美山錦」で仕込んだ新酒のお披露目会を行う予定です。

北部地方振興事務所栗原地域事務所農業農村整備部では、新酒お披露目会の開催を支援するとともに、今後も農村地域における集落機能の維持・向上に向けて支援してまいります。



田植えの様子

.....
発行：北部地方振興事務所栗原地域事務所農業農村整備部
〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1
TEL 0228-22-2111（代表） / FAX 0228-22-9284
URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khsgsin-ns/>